

投稿規程

「東京大学海洋研究所国際沿岸海洋研究センター研究報告」は東京大学海洋研究所国際沿岸海洋研究センターより毎年1回発行される出版物で、当センターで行なわれた研究活動の成果を紹介することを目的とする。本誌に掲載する記事は原著論文、総説、共同利用研究会講演要旨、各種観測の結果、国際沿岸海洋センター研究業績一覧などである。

原稿の書き方

使用言語：使用言語は日本語とする。

原稿のスタイル：原稿は、縦長A4判用紙に、横書き、一段組、ダブルスペース程度の行間を開け、用紙の周囲には2.5 cm程度の余白をとって、ワードプロセッサを用いてプリントアウトしたものとする。文中の句読点は「、」「。」を用いず、「,」「.」を用いる。下線はイタリックの指定のみに使用する。英文は行末をそろえず、行末の単語はハイフンで次行につなげない。

原稿の構成：原著論文および総説の原稿は、タイトルページ、要旨、本文、謝辞、引用文献、表、図の説明、図、がこの順で含まれる。場合によりその後写真図版(plate)をつけることができる。その他の原稿の構成は、原著論文に準ずるが、タイトルページ、本文以外の構成は自由とする。表、図の説明、図以外のすべてのページには通しページ番号をつける。

タイトルページ：最初のページには、タイトル、著者名、所属、住所のみを明示する。

要旨：要旨は400字程度とする。

本文：図、表の挿入位置を本文余白に指定する。指定のない場合、編集委員会で適当な位置に割り振る。

引用文献：本文中の引用は、日本語の場合、「渡辺(1990)は」、「渡辺(1990a, b)は」、「渡辺(1990, 1991)は」、「渡辺・鈴木(1990)は」、「渡辺ら(1990)は」、「(渡辺1990)」、「(渡辺1990, 1991, 鈴木1992)」などとする。英語の場合、「Smith(1990)」、「Smith and Jones(1990a, b, 1991)」、「Smith et al.(1990)」、「(Smith 1990, 1991, Jones 1992)」などとする。

引用文献での配列は以下のルールに従う。1) 著者のアルファベット順。2) 同一第1著者によるものが複数ある場合、単独著者によるものを年号順、2著者によるものを第2著者のアルファベット順、3著者以上によるものを年号順に並べる。3) 著者名・年号共に同じ場合はa, bなどをつけて区別する。4) 著者が3人以上で、第1著者・年号が等しいものもa, bなどをつけて区別する。5) 日本語の文献は最後にまわさず、著者名をアルファベットで書いたときの順番に従う。6) 著者名と年号の間・年号とタイトルの間には、2半角スペースを挿入する。他は以下の例に従う。

Araki, I., Tagawa, K., Kusakabe, T. and Satoh, N. 1996. Predominant expression of a cytoskeletal actin gene in mesenchyme cells during embryogenesis of the ascidian *Halocynthia roretzi*. *Develop. Growth Differ.* 38: 401–411. 岩田宗彦・平野哲也. 1991. 浸透圧調節. 「魚類生理学」(板沢靖夫・羽生功, 編) pp. 125–150. 恒星社厚生閣.

Leatherwood, S. and Reeves, R. 1983. The Sierra Club handbook of whales and dolphins. Sierra Club Books, San Francisco, CA.

Morisawa, M., Oda, S. and Inoda, T. 1992. Initiation of sperm motility by osmolality and calcium in Teleosts and Amphibia. *In Comparative spermatology 20 years after. Seronro symposia publications vol. 75.* Baccetti, B. (ed.), pp. 507–511, Raven Press, New York.

武田正倫・小西光一. 1991. 大槌湾産カクレガニ類. 大槌臨海研究センター報告 17: 29–39.

表：表は1つづつ別紙とし、表番号とタイトルをつける。タイトルは原則的に英語とする。縦線は使用しない。

図の説明：図および図版の説明はそれぞれ別紙にまとめて書き、原則として英語とする。

図および図版：図および図版はそのまま製版できる状態になっていなければならない。印刷時の大きさを指定することができる(1カラム、約8 cm; 1.5カラム、約12 cm; 2カラム、約17 cmなど)。印刷時の縮小を考慮し、図中の文字が小さくならないよう注意する。図の余白または裏に、図の番号、上下の別、著者名を明記する。カラー図版の掲載は、製版・印刷代の全額が著者負担となる。

単位と符号：単位は国際単位系(SI)に準じる。単位などの符号は以下の例にならう。一般: sec, min, h, kg, g, mg, m, km, mm, cm, Hz, kHz, l, ml, mol, ha, °C. 統計: *P*, *X*, *n*, SD, SE, *df*, CV, *r*, *t*, *F*, *U*, *Z*.

投稿

原稿部数：原稿は3部(その内2部はコピーでもよい)と、原稿のテキストファイルをCD-Rなどのメディアあるいはメールの添付として送付する。

校閲：原著論文ならびに総説は、編集委員会ならびに委託された校閲者による校閲を受ける。修正の必要があるとされた原稿は、校閲者の意見と共に著者に返送されるので、著者は必要な訂正を行なった後、速やかに再提出する。

校正と印刷

校正：初校のみ著者が行い、再校以降は編集委員会の責任において行なう。校正は印刷ミスについてのみ行い、本文、図表の変更は原則として認めない。

印刷：刷り上がり規格はA4版で、500部を印刷する。

別刷：別刷は全額著者負担。代金はページ数、写真の有無などにより異なる。

著作権

出版された原稿の著作権は、すべて東京大学海洋研究所国際沿岸海洋研究センターに帰属する。図表等の転載には国際沿岸海洋研究センター長の許可を必要とする。

原稿送付先

〒028-1102 岩手県上閉伊郡大槌町赤浜2-106-1 東京大学海洋研究所 国際沿岸海洋研究センター「東京大学海洋研究所 国際沿岸海洋研究センター研究報告」編集委員長宛。